

施策名：いじめ・不登校対策の強化

事業名	担当課・室名	ページ
いじめ・不登校等未然防止対策事業	生徒指導推進室	2 / 4
いじめ・不登校解決支援事業	生徒指導推進室	3 / 4
心のふれあいキャンプ推進事業	社会教育課	4 / 4

事業名	いじめ・不登校等未然防止対策事業		事業期間	平成 25 年度～平成 28 年度		政策区分	教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成	
						施策区分	いじめ・不登校対策の強化	
総合評価	A		事業実施課(室)名	生徒指導推進室		評価者	生徒指導推進室長 江藤 義	
継続・見直し								

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	いじめ・不登校問題は、児童生徒が安全安心な学校生活を送る上で重要な問題である。いじめや不登校の問題が起きる背景や原因は複雑化しており、仲間づくりや居場所づくり、道徳教育を進め、効果的な未然防止対策を進める学校体制づくりが課題となっている。	事業の目的	公立小・中・高等学校等における不登校出現の防止及び、いじめの未然防止を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
不登校対策コーディネーターの配置	不登校対策の専門性を持った教員を地域に配置 (16人)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導支援加配(人事配置)を活用し、地域及び校内での取組強化 ・国(国庫)の調査研究事業を活用 ・いじめゼロ子どもサミットの参加生徒を、教育事務所単位で招集 	総コスト	26,982	148,660	177,584
魅力ある学校づくり調査研究事業	登校意欲の高まる魅力的な学校づくりの推進(日田市)		事業費	6,982	128,660	157,584
いじめゼロ子どもサミット	中学生代表によるいじめ防止に向けた会議(180人)		(うち一般財源)	3,268	93,640	114,573
いじめ対応スキルアップ研修	小・中・高の教職員を対象にした研修の実施(150人)		人件費	20,000	20,000	20,000
いじめ対応指導書Q&A集の配布	組織的ないじめ対応方法のための教師用指導書を作成(13,000部)		職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題
	いじめアンケート実施率(%)	目標値		96.0	98.0	100.0		
実績値			97.1					
達成率			101.1%					
目標値								
実績値								
達成率								

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果			
	中学校不登校出現率(%)	目標値		3.04	3.01	2.98			2.95	a	<ul style="list-style-type: none"> 欠席初期の対応について、担任任せにせず、学校の組織的な対応が進んできている。 ※26年度実績の確定が12月となる予定であるため、25年度実績での評価としている(活動指標、成果指標とも。)
		実績値		3.17							
達成率			95.9%								

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- ・不登校児童生徒数の減少に向けた初期対応の徹底を図るため、「あったかハート1・2・3」運動の取組を推進
- ・いじめ・不登校の未然防止に向け、学校の組織的な対応力を強化するため、地域不登校防止推進教員を中心とした組織的な取組を推進

事業名	いじめ・不登校解決支援事業	事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成
			施策区分	いじめ・不登校対策の強化		
総合評価	D	例外的に継続	事業実施課(室)名	生徒指導推進室	評価者	生徒指導推進室長 江藤 義

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	いじめ・不登校問題は大きな教育上の問題となっているが、その原因は生徒の発達上の悩み、友人や家庭関係、学習や進路上的の悩み等多様で複雑である。また、教職員だけでは発見や対応が遅れるケースがあり、生徒への適切な対応に支障も生じている。このため心理等の職員の専門的支援が求められている。	事業の目的	公立小・中・高等学校等におけるいじめ問題の解決及び、不登校児童生徒の減少を図る。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
いじめ解決支援チーム	解決困難ないじめ事案に対して支援チームを派遣(80回)	<ul style="list-style-type: none"> いじめ解決支援員の勤務曜日を分け、効率的運用の実施 夜間、休日のいじめ相談ダイヤルを外部に委託し、効率化 協議会3回のうち、1回はブロック単位で開催 スクールカウンセラー小中連携配置をさらに拡充し、効率的な運用の実施 	総コスト	140,411	141,680	158,328
24時間いじめ相談ダイヤル	24時間のいじめ相談体制を整備(相談:104件) 委託先:ダイヤル・サービス株式会社		事業費	110,411	111,680	128,328
いじめ対策連絡協議会	福祉・警察・医療等関係機関と連携して対策を協議(3回)		(うち一般財源)	76,182	77,139	88,760
スクールカウンセラー配置事業	福祉・警察・医療等関係機関と連携して対策を協議(3回) 臨床心理士等(72人)を県内学校に配置(相談:27,855件)		人件費	30,000	30,000	30,000
			職員数(人)	3.00	3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題	
								今後の課題	
	スクールカウンセラーの相談件数(件)	目標値	20,000	21,000	22,000	22,000	c	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーの資質・能力の向上 	
		実績値	28,416	27,855					
		達成率	142.1%	132.6%					
	いじめ解決支援チーム相談件数(件)	目標値	25	27	30	30			
		実績値	25	18					
		達成率	100.0%	66.7%					

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果	
								事業の成果	
	不登校児童生徒の学校復帰率(%)	目標値	43.0	46.5	50.0	50.0	b	教育相談体制の充実により、全国平均値(30.4%)より高い学校復帰率を達成した。 ※26年度実績の確定が12月となる予定であるため、25年度実績での評価としている(成果指標のみ。)。	
		実績値	35.7						
		達成率	83.0%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	--------	---------------	----

今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の学校復帰等に向け、スクールカウンセラーの配置校数を増やすだけでなく、スクールカウンセラー連絡協議会やスーパーバイザー(担当地区長)制度を充実
---------	--

事業名	心のふれあいキャンプ推進事業		事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度		政策区分	教育の再生、未来を拓く人づくりと青少年の健全育成
				施策区分	いじめ・不登校対策の強化		
総合評価	B	継続・見直し	事業実施課(室)名	社会教育課		評価者	社会教育課長 曾根崎 靖

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内の不登校児童・生徒数は増加傾向にある。 大自然の中での非日常的な体験（自然体験活動）は、不登校傾向等にある子どもたちの社会性を向上させるのに極めて有効と考えられているが、本県で、そうした取組を本格的に実施している機関や団体は少ない。	事業の目的	不登校傾向にある子どものコミュニケーション能力・問題解決能力を高め、社会性を向上させる。 特に、発達障がいにより不登校傾向にある子どもに有効なプログラムの開発・実践・検証を行い、県内に普及させる。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容と今後の課題]

(単位：千円)

活動名	活動内容	効率化の取組状況	コスト	25年度	26年度	27(予算)
心のふれあいモデルキャンプ	モデルキャンプの実施（プレキャンプ、メインキャンプの2回、対象：不登校傾向にある児童のうち発達障がいのある者）	<ul style="list-style-type: none"> モデルキャンプをより効果的に実施し、個々の参加者の状況に迅速に対応できる体制づくりのため、実行委員会4回のうち2回をキャンプ当日に開催 大学との連携によるメンタルフレンド（大学生）の参加 	総コスト	11,791	11,570	11,922
心のふれあい自然体験キャンプ	自然体験キャンプの実施（年4回、対象：不登校傾向にある児童・生徒、市町村の教育支援センターと連携）		事業費	2,791	2,570	2,922
			(うち一般財源)	2,791	2,570	2,922
			人件費	9,000	9,000	9,000
		職員数(人)	0.90	0.90	0.90	

活動指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	今後の課題
	自然体験キャンプの連携市町村数(市町村)	目標値	4	8	12	12		
	実績値	4	7					
	達成率	100.0%	87.5%					
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	25年度	26年度	27年度	最終達成(27年度)	評価	事業の成果
	部分登校や完全登校など変容が見られた参加者の割合(%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0		
	実績値	78.0	72.7					
	達成率	97.5%	90.9%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- 教育支援センター連絡会議やスクールカウンセラー連絡会議等を活用した実践報告会を開催
- 自然体験活動が不登校傾向等にある子どもたちに与える有効性を広く伝え、連携市町村を拡大